

社会教育指導員の部屋

2020.9月

生涯学習課 社会教育指導員 伴野 洋子

野沢公民館講座「初心者ボランティア教室～向こう三軒両隣～」に参加しました

ボランティアをしてみたいと思っているが、さて「どうすれば始められるのか」「自分にできるものがあるのか」など、いろいろと考えたりしていました。

そんな時、野沢公民館「初心者ボランティア教室～向こう三軒両隣～」のテーマが気になり、9月11日と9月18日の二回講座に参加しました。

◎ 第1回、「ボランティアとは？」と題した講話を聞きました。

話を聞いて、自分のボランティアに対するイメージが少し片寄っていたと感じました。例えば、災害で被災した方を支援するとか高齢者・障がい者を対象としたことなど、自分の中で「さて！」と気合が入ってしまうような活動をボランティアととらえていました。実際は多種多様なボランティアがあり、興味や関心がある身近なことから「欲張らない・無理をしないこと」が活動するポイントだと聞いて、ボランティア活動が身近に感じられてきました。



◎ 第2回、「子ども食堂の企画書」作りに挑戦しました。

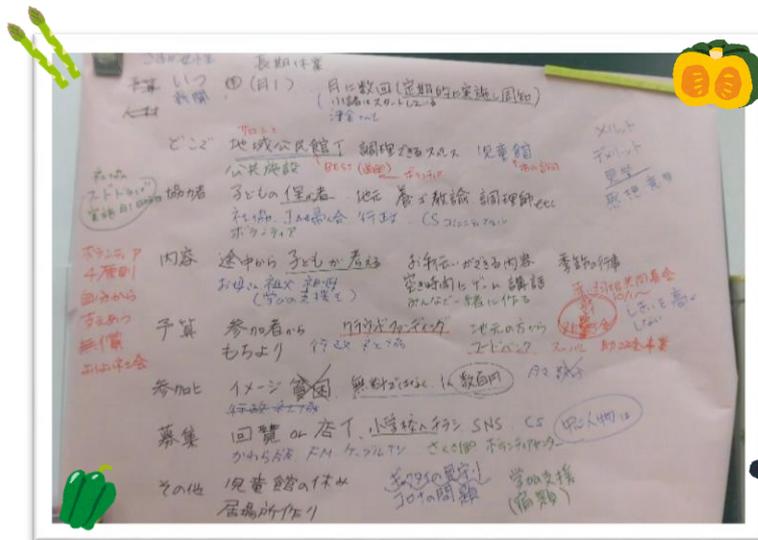
現在いろいろな所で耳や目にする「子ども食堂」ですが、改めて企画書を前に、自分ならどんな子ども食堂にしようかと思いつきながら書いてみました。「いつ」「どこで」と順調に記入しましたが、「協力者」「参加費」については、協力者をどの範囲の人までにするのか、参加費はもらおうと思うが、金額は幾らが妥当なのかなど、考え込んでしまいました。

後半は参加者が順番に企画書を発表し、内容を公民館の職員が模造紙に書きこみました。

子ども食堂企画書

企画者

いつ：
どこで：
協力者：
内容：
予算：
参加費：
募集方法：
その他：



最後、振り返りの時間で参加者の皆さんの「子ども食堂」に対する考え方や思いを知ることができました。例えば、子ども食堂を子どもたちへの食事の提供だけでなく、子どもの居場所作り・学習支援・虐待の見守りの場としての活用できないか、また地域で行われている「サロン」とつなげることで、お年寄りの生きがいの場作りとして活用していきたいなど様々な考えや思いです。これらの事から、企画書を考えている時に悩んだことに対しての自身の考え方の幅が広がり、自分では思いつかないアイデアやヒントを発見できた講座でした。